

HOSHINO PROJECT  
SPECIAL CONCERT  
"VERDI REQUIEM"

ヴェルディ「レクイエム」特別演奏会  
∞星野PROJECT∞

# G. VERDI REQUIEM

ヴェルディ：聖歌四篇より「スターバト・マーテル」  
GIUSEPPE VERDI：QUATTRO PEZZI SACRI "STABAT MATER"

ヴェルディ：「レクイエム」  
GIUSEPPE VERDI：MESSA DA REQUIEM

指揮：星野 聡

ソプラノ：星野尚子 メゾソプラノ：巖淵真理

テノール：山田精一 バス：成田 眞

ハープ：奥田恭子

オーケストラ：グランベエ管弦楽団

合唱

グランベエ合唱団

戸塚混声合唱団

横浜オラトリオ協会合唱団

2014年 8月30日(土)

13時20分開場 / 14時開演

会場 横浜みなとみらいホール 大ホール

入場料 全席自由 1,500円

- 主催：横浜オラトリオ協会合唱団
- 後援：神奈川県合唱連盟

【お問合せ】

星野PROJECT

横浜オラトリオ協会合唱団事務局内

080-1012-6183 (山田)

お願い：未就学児童の入場はお断りすることがございます。  
大変勝手ながら、花束などの贈り物をご辞退申し上げます。

# 伝統の響き、新たなる挑戦



指揮者: 星野 聡 SATOSHI HOSHINO / CONDUCTOR

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中より声楽の伴奏を中心に演奏活動をする。卒業後、声楽に転向。二期会オペラスタジオ、東京芸術大学声楽科に学び、東京芸術大学大学院オペラ科を修了。'92年「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラデビューし、その後数多くのオペラや演奏会のソリストとして出演。また芸大在学中に合唱団の指導に携わったのを機に指揮者としての研鑽を積み、以来混声合唱団や女声コーラス等の指揮者として活動の場を広げ、その音楽性や指導力の評価も高い。近年はオペラ団「グランベネ歌劇団」を主宰し、地域の文化発展や若手演奏家の育成にも尽力している。これまでに指揮者としてオペラ「ラ・ボエーム」「トスカ」「蝶々夫人」(プッチーニ)、「カルメン」(ビゼー)、「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」(モーツァルト)、「椿姫」(ヴェルディ)、「アンドレア・シェニエ」(ジョルダーン)等を演奏。声楽を平野忠彦氏、ピアノを岡田隆郎氏、指揮法を小林資典氏に師事。二期会会員。日本演奏連盟会員。フェリス女学院大学音楽学部教授。



ソプラノ: 星野尚子



メゾソプラノ: 巖淵真理



テノール: 山田精一



バス: 成田 眞



ハープ: 奥田 恭子

## グランベネ合唱団 CHORUS OF GRANBENE OPERA

グランベネ合唱団は2006年9月に指揮者星野聡氏の呼びかけのもと「横浜グランベネ歌劇団」として結成された。2007年4月に旗揚げ公演としてプッチーニ作曲「ラ・ボエーム」を鎌倉芸術館大ホールにて上演、その時に「横浜グランベネ合唱団」として独立。その後も同年10月ビゼー作曲「カルメン」、2008年4月プッチーニ作曲「トスカ」、2009年4月モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、同年10月ヴェルディ作曲「椿姫」、2011年2月ジョルダーン作曲「アンドレア・シェニエ」、2012年9月プッチーニ作曲「蝶々夫人」に出演してきた。この間に名称も「グランベネ合唱団」と改名し、フェリス女学院大学音楽学部の卒業公演に参加。オペラばかりでなくミュージカル等も範ちゅうに収め、そのクオリティの高さに観客の絶大な賛辞を集めている。合唱界のベテランや音楽大学の卒業生から音楽経験のあまりない人まで、年代も10代から70代までという様々なメンバーで構成されている。毎週木曜日の夜に集まって熱心に楽しく練習を重ね、公演ではオペラ界での活躍著しいソリストと共演を果たすなど、オペラの素晴らしさを満喫している。

## 戸塚混声合唱団 TOTSUKA MIXED CHOIR

戸塚混声合唱団は、前任指揮者武部幸生先生の「混声合唱団を戸塚に」との呼びかけにより、戸塚区で初めての混声合唱団として1985年10月に産声を上げ、3年後には第1回演奏会を開催するまでになり、以後、約1年半毎の演奏会を柱に、ヨコハマ・コーラルフェストや県合唱祭、養護学校・介護施設への訪問演奏、忘年会、お花見等々幅広く活動して来ました。

2000年に現在の常任指揮者星野聡先生をお迎えし、先生の卓越した指導力と情熱により、技術的にも成長し、第10回演奏会はデュリュフレの「レクイエム」を泉公会堂で、第11回演奏会はブラームスの「ドイツ・レクイエム」を、鎌倉交響楽団のご協力を得て鎌倉芸術館大ホールで演奏致しました。以後、第12・13・14回演奏会は、フォーレ・モーツァルト・デュリュフレのレクイエムを、星野先生率いるグランベネ管弦楽団とみなとみらい大ホールで開催し、多くのお客様と感動を共にすることが出来ました。また、こうした大曲と共に、林光・三善晃・信長貴富・松下耕等の日本の合唱曲にも取り組んで来ました。

来年2015年には創立30周年を迎えますが、これをまた一つの節目とし、更なる飛躍を目指し活動して行く所存です。

今後とも皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

## 横浜オラトリオ協会合唱団 YOKOHAMA ORATORIO SOCIETY CHOIR

横浜オラトリオ協会合唱団は昭和3年の創立以来、宗教音楽を中心に歌い続け、2013年に創立85周年を迎えた現存する日本のアマチュア合唱団では最も古い合唱団の1つです。現在20代から80代まで、幅広い年齢層、さまざまな職業の約95名の混声メンバーで、得意とする宗教音楽はもちろん、日本の作曲家の作品など、さまざまなジャンルの合唱曲に取り組んでいます。団員は入団したての若手から、在団数十年以上の超ベテランまで、年齢、経歴に関係無く、素晴らしい音楽を創るという共通の目標を持つ対等の仲間としてお付き合いできるのがオラトリオの素敵どころです。

2009年12月に新しく常任指揮者として星野先生をお迎えし、2010年12月の定期演奏会におけるモーツァルトの「レクイエム」の演奏で新たにスタートいたしました。昨年は、フォーレ「レクイエム」、ゴダイ「ミサ・プレヴィス」、新実徳英「花に寄せて」に取り組み、創立85周年記念演奏会に相応しい響きをホール内一杯にお届けできたのではないかと自負しております。

## グランベネ管弦楽団 ORCHESTRA OF GRANBENE OPERA

2007年1月、フェリス女学院大学音楽学部の授業「オペラ研究」の学内演奏会のために、「山手管弦楽団」として結成された管弦楽団。以降、毎年モーツァルトのオペラ等を演奏し、好評を博している。若いながらも経験豊富なメンバーで構成されており、活気にあふれ、その気迫に満ちた演奏に指揮者の信頼も厚い。